

2020年1月15日発行

第 624 号

発行 / 社会福祉法人 天童会 飯野順子

後の壮年期に備え、社会性を身につけることを

人生を豊かにする「樺大学」

「樺大学」は、19、29歳までの青年期の利用者のニーズに応え、「学びたい、体験したい」という若いエネルギーを発揮させるとともに、その後の壮年期に備え、社会性を身につけることを

心身を解き放つアロママッサージ

アロママッサージでの、ふくよかな香りとなつ・タッチの優しい手の動き。マッサージは言葉にならない言葉で、ていねいに、ゆっくりと、思いや願いを伝え合い、響き合っているようでした。そして、この上なく豊かで、至福の時を過ごしていると思えました。その心地よさと手のぬくもりは、ひとり一人の心に刻み込まれています。これは、履歴の一瞬です。

春はあけぼの、夏は夜、秋は夕暮れ、冬はつとめて。(枕草子)
新たな季節が巡りくる時となりました。新年明けまして、おめでとございませう。

秋津の未来に、曙光を！



令和初の文化祭は、10月26日の明治薬科大管弦楽「チームディズニー」による大会議室でのコンサートを皮切りに、EPAの皆さんのうた、笛とバイオリンとピアノのコンサートや保育士会「うたと体操」公演、SHKサウンドヒー



理事長 飯野順子

目指して、開始しました。大学名の「樺大学」は、それまでの栄養(栄養)を自分のものとし、樺のように大きく成長することを願って名付けています。私は、「樺大学」の活動について、次のように評価し、今後の日中活動の指針としてと思っています。

- (1)「学ぶ喜びは人間にとつて、根源的なもの(齋藤孝)」との価値観が、その基底にある。
- (2)カリキュラムを設定し、plan(計画を練る)→Do(実践する)・学ぶ喜び・学びの蓄積)→Check(評価する)→Action(改善する)・変容)のPDCAサイクルがある。
- (3)集団生活の中で、①聞き取り・聞き分ける力 ②気づき・受け止める力、③伝える力・伝える喜び、④想像(イメージ)する力 ⑤自分の願いや思いを持つ意欲等の生きる力をつける機会としている。
- (4)ゆったりとした時間軸の中で、個性を尊重した本人のペースで展開している。
- (5)関係する職員が生きて、持てる力を発揮している。(アイデア豊かな創作教材、企画力、観察力、協働する力)

「樺大学」では、入学式を設定し、学生証を授与するなど、緊張感のある場面を展開しています。わずかに月1回の活動ですが、日々の節目の時として、学びの履歴を形成しています。どの日中活動にも、キラッと利用者の方々の個性が光る時があります。日中活動の記録には、その履歴が記憶されていることと思えます。

目指して、開始しました。大学名の「樺大学」は、それまでの栄養(栄養)を自分のものとし、樺のように大きく成長することを願って名付けています。私は、「樺大学」の活動について、次のように評価し、今後の日中活動の指針としてと思っています。

- (1)「学ぶ喜びは人間にとつて、根源的なもの(齋藤孝)」との価値観が、その基底にある。
- (2)カリキュラムを設定し、plan(計画を練る)→Do(実践する)・学ぶ喜び・学びの蓄積)→Check(評価する)→Action(改善する)・変容)のPDCAサイクルがある。
- (3)集団生活の中で、①聞き取り・聞き分ける力 ②気づき・受け止める力、③伝える力・伝える喜び、④想像(イメージ)する力 ⑤自分の願いや思いを持つ意欲等の生きる力をつける機会としている。
- (4)ゆったりとした時間軸の中で、個性を尊重した本人のペースで展開している。
- (5)関係する職員が生きて、持てる力を発揮している。(アイデア豊かな創作教材、企画力、観察力、協働する力)

EPA 職員による歌
(下) EPA 介護福祉候補生による歌。年を重ねることに日本語が上手になり、今では、私より難しい漢字を知っています。『幸せなら手をたたこう』インドネシア語バージョンなど、3曲を披露してくれました。

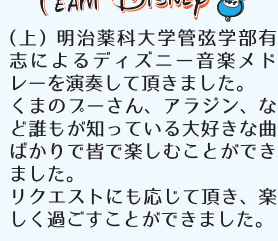


笛とバイオリンコンサート
(下) 旧職員とお友達によるリコーダー&バイオリンのアンサンブル「ばあばりーす」故郷の四季をテーマにロビーに集まったみんなが知っている曲を演奏してくれました。聴きなれたリコーダーの音色がバイオリンと合って素敵な演奏でした。



ハンドマッサージ
(上) 当園スタッフによるハンドマッサージの施術 たくさんの方に来ていただき好評を得ることができました。この後、東村山市役所・社会福祉協議会共産の「福祉の集い」でもコーナーを設け実施しました。(高橋 英)

TEAM Disney
(上) 明治薬科大学管弦楽部有志によるディズニー音楽メドレーを演奏して頂きました。くまのプーさん、アラジン、など誰もが知っている大好きな曲ばかりで皆で楽しむことができました。リクエストにも応じて頂き、楽しく過ごすことができました。



特集
はたらくひと
働く人
その3
洗濯場
せんたくば
で働く職員さん

今回は洗濯場にお邪魔しました。園内の洗濯物は全てここに集まります。このように作業してこのように帰ります。

職員数と勤務体系を教えてください。

常勤職員3名・非常勤職員3名とシルバー人材センターからの派遣（通称シルバーさん）が1名の計7名です。そのうちの4名が毎日勤務しています。

主な仕事内容はなんですか？

洗濯物と寝具の管理・機器のメンテナンスが主な仕事です。

洗濯物はどのように処理していますか？

各病棟を回って洗濯物を回収します。回収した洗濯物は大きく3つに分類します。寝具とその他の物です。寝具の洗濯は業者さんに依頼しています。その他の内訳は衣類全般・ベッド用タオル・肌着・エプロン・タオル・布おむつ（清拭用）などで、用途や素材別に分別します。これらは当園で洗濯しています。



各病棟の回収作業

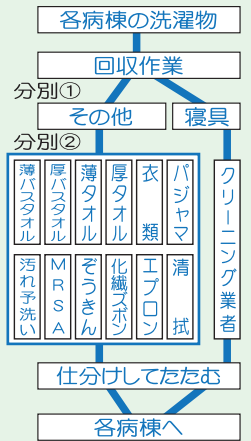


様々な洗濯機が並ぶ洗濯場

わあ 大きな洗濯機だね。

た〜さんの物を洗えそだね！

一番大きな洗濯機は一度に10kgの洗濯ができるんですよ。乾燥機も3種類の大きさのものがあります。洗濯量や素材・用途によつて使い分けています。

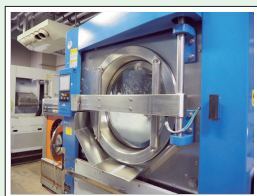


右図の分別②の12項目を別々に洗濯しています。

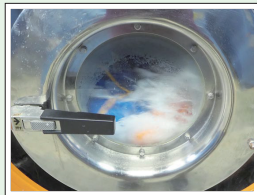
一日に何回くらい洗濯していますか？

平均で22〜23回くらいです。病棟のお風呂がある日などは25回くらいです。日もあります。ひと昔前まで布おむつを使用していた時は、一日に2000枚も洗っていたのでもっと回数は多かったですよ。最近は布おむつが減りましたが、衣類・タオルの需要が増えてきました。

ええ〜それでも、そんなに...



1号洗濯機 容量は100kg



洗濯機内の様子

洗剤などは市販の物を使っていますか？

業務用の物を使用しています。使用する洗剤は、大きく分けて3種類。普通洗剤・漂白剤・次亜塩素酸を布地や素材に合わせて配合します。布おむつは、次亜塩素酸ナトリウムを混ぜて洗い、タオル・おてふきなどは香りがつかないように、酸素系漂白剤を使います。シミや汚れた部分は、また別の洗剤・溶剤を用意しています。

ええ... 洗剤も使い分けしていますね。

普段はお湯で洗濯することがほとんどですが、血液などたんぱく質の汚れは、温度が高いと凝固して落ちにくくなるので

で、セスキ水でもみ洗います。

乾燥機は温度管理と時間が大切です。最高温度は130度まで設定ができますが、温度が高過ぎると生地が痛みが早くなってしまうので、過去の記録から適性の温度を見出しています。また、しわになりやすい生地の物は、少ない量の洗濯物を大きな乾燥機で乾かします。生地を伸ばしたまま広〜乾燥機内で乾かすことで、小さなスペースで乾かすよりもしわにならなくなります。化繊のスポンは縮んでしまったりゴムが伸びてしまったりしてしまうので低温で乾かしたりとそれれに対応しています。



普通洗剤



次亜塩素酸ナトリウム



漂白剤



出来立ての洗濯物

気を付けていることはなんですか？

洗濯するにあたっては、①きれいに洗うこと。②きちんと殺菌すること。③肌触り良く仕上げること。④生地を傷めないこと。を念頭においています。それには先ず、「安全」と「清潔」が大切だと思っています。

機械の始動時には目視と「始動します。」の掛け声で、安全を確認します。それと職場はいつもキレイに心がけています。また、使用する洗剤の種類や量も検討を重ね、利用者さんがかぶれを起こさない、

「安全」と「清潔」が課題ですね。

布が固くなると、肌荒れを起こしたりしないよう、洗剤の成分や使用量、乾燥温度や時間などを考慮して運転しています。



乾燥機の設定パネル 左下の赤いボタンは非常停止ボタン



取り出しも2人で安全確認

大変だと思いつことはありますか？

とにかく、洗濯場は暑いんです。水分補給は必須ですね。



さとと やりますか！



寝具倉庫も清潔を保っています

利用者さんや職員との関わりはありますか？

洗濯物の回収に病棟に入ります。いつも笑顔で迎えてくれる利用者さん、挨拶してくれる利用者さん。じつと仕事を監視してくれる利用者さん笑、いつも励まされています。また、職員と一緒に洗濯場に散歩に来られる園生さんいます。嬉しくですね。

今後の課題はなんですか？

洗濯方法の見直しをしています。性能や経済的にも、現在よりも適正な洗剤はないか。すすぎをもっと効率よくできないか。また機器の消毒面でも微酸性次亜塩素酸水などの使用を検討しています。さらなる「安全」「清潔」が課題です。

この記事に関するお問い合わせは
jimukyoku@tenndoukai.net tk6

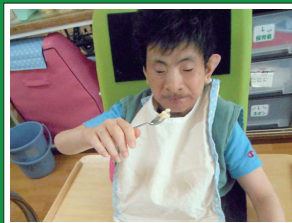


各棟のクリスマス会の様子 (以下4棟のコメント) クリスマス会では、利用者による演奏が行われました。ボールを鉄琴に落として鳴らしたり、キーボードを足で演奏したり、アイパッドのドラムを触って音を出したり、個々に合った楽器や鳴らし方で頑張りました！職員による歌も披露されました。そして、お待ちかねのケーキ。今年はいちごとチョコのドームケーキとトナカイのムースでした。とても美味しくいただきました。それからサンタとトナカイがきました。なんとサンタさんはプレゼントを忘れてきてしまいました。でも大丈夫、トナカイの仲間が飛行機でひとつ、プレゼントを持ってきてくれました。サンタさんから無事プレゼントをもらい、笑いと笑顔、手拍子に包まれて楽しい会は幕を閉じました。(石田)



ランチ会・昼食バイキング

美味しかった！楽しかった！
笑顔いっぱい！お腹いっぱいの昼食バイキング！（粟野）
栄養管理室の料理は最高だ！みんな大満足！（富澤）





通園センター改修工事

11月1日より通園センターのエレベーター改修及び外装・屋根防水工事を行っております。エレベーターは、油圧式から電気式へ、屋根、壁面タイルは補修をしております。その後、内部改修工事をいたします。完成予定6月末日です。

その期間、通園センターは秋津療育園内大会議室へと移動してまいります。ご迷惑をおかけしてはおりますが、引き続き、ご理解とご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。(法人課)



通園センターは改修工事にあたり、本園の大会議室に生活の場を移すことになりました。

生活の場が変わるといのは利用者のみならず、御家族や職員にも不安がありました。

しかし、実際に大会議室に入ってから生活してみると、広々とした空間に天井も高く、とても解放感がありました。外の扉を開けると遠くの山々を見渡せるほど、素敵な景色が広がっていました。日当たりもよく温かい日には簡易テントを出して、寝転がって空を眺めたり、ギターを弾いて皆で歌ったり、シャボン玉をして遊びました。

本園の中で生活することで、色んな職員や御家族に声を掛けてもらいます。前通園職員さんや、通っていた利用者のお友達。沢山の方が名前を憶えて話し掛けてくれるようになりました。本園のイベントにも参加することが出来ました。

1番の変化は、1棟のお風呂を借りてのミスト浴です。身体を洗っている最中でもずっと温かく、全身が温かいミストに包まれてとても気持ちのいいリラックスタイムが出来ました。

新しい通園センターの建物が出来るとの待ち遠しく感じながらも、本園にある沢山の恩恵を頂き、温かみに触れ、とても充実した日々が送れていることに心より感謝しています。(伊藤将)

Music Sharing
ミュージック・シェアリング

NPO法人ミュージック・シェアリングより世界でご活躍されている3人の演奏者が来園され、『雅楽』を披露してくれました。日本の古典音楽で、普段は聴く機会が少ない箏(しょう)・篳篥(ひちりき)・龍(りゅう)笛(てき)の響きを感じる事ができ、また楽器をさわったり、吹いたり体験もさせていただきました。

世界的な演奏者による本物の『音楽』にふれる機会に恵まれ、貴重な体験をすることができました。(サトリス・石丸)

リハビリテーション室
リハビリ

ガタガタロード

リハビリテーション室の遊び隊がリハ室内に「ゲームコーナー」を設置しました。一つ目は「ガタガタロード」という車椅子に乗りしたままガタガタした道を通って揺れや振動を楽しむ体感型ゲームです。二つ目は「お魚つかみ」という滝に見立てた水柱からお魚をつかんで引く張る獲得型ゲームです。今月からスタンブ台も併設しました。それぞれのゲームを一つクリアする毎にスタンブを押しすることが出来ます。スタンブが10個集まると「何かいいこと(?)」が起こるそうです。

古い写真や文獻の中から、もう一度見ておきたい、読んでおきたいものを掲載します。

秋津アーカイブス

それは私です 佐々木看護婦さん

(昭和42年1月1日発行 「あきつ」より)

12月17日(土)NHKテレビ。「それは私です」に三人の看護婦さん姿の中央には、秋津療育園の佐々木さん。

「私は重症心身障害児の施設で不自由な重症児のお世話をしている佐々木さんです。」と司会者は読み上げる。

ゲストの安西愛子さんは、質問の前に、私にも不自由児があるので、日夜こうしたお子さんの世話してられることに心から御礼申し上げます。とはじめのことばも後来に見られなかった。

本物の佐々木さんを当てたゲストがなかったが、司会者が終わりに、随分つらいことがありでしょう。

「ハイ、ときどきは止めようかと思っただこともありましたが、その態度純真なこどもに接していると不思議に自分に喜びをよえているということが分かるようになりました。」

今一番何を希望していられますか。

「一名でも多くの方が、私たちの仕事にどぴこんで頂ける用きたいと思っています。」

*これは私ですは1960年から1988年まで、NHK総合テレビで放送されたクイズ番組・登場した3人の中から本物の本人を当てるという内容の番組に当園(当時)の佐々木看護婦が出演した時のものです。

*現在と表現方法が異なる部分がありますが、原文のまま掲載しました

写真はイメージです
NHKホームページより

ご寄付

高橋輝行様、牧野幸次様、平井忠昭様、山崎幸子様、矢島サチ子様、円羽美奈子様、牧田勢津子様、伊藤知子様、飯野順子様、ウォーリー美智子様、寺本国男様、大木道子様、飛田貴子様、和田真様、河内トキ様、北林朋美様、土橋栄江様、乙幡木ノ子様、伊藤知子様、金子久子様、山本鐵子様、原田江津子様、服部信様、八島ミツ様、長谷川初子様、岡田生樹様、一般社団法人東京馬主協会様、コスモスの会様、立教池袋中学校・高等学校PTA厚生部様、(株)サッポロめんフーズ川越工場様、宗教法人日本聖公会様、立教池袋中学校・高等学校父母ボランティアグループ様、よつばの会様、(有)荒田葬儀社様、新座キリスト教会様、東洋英和女学院小学部様、タンブールパソスタッフ様、目白協会婦人会様 皆様方の温かい御支援と御協力に、心より厚く御礼申し上げます。 社会福祉法人 天童会

編集後記

この冬は暖冬らしいですね。でも冬は冬、やっぱり寒いですが。今号で特集「働く人」も第3回をむかえました。職員の仕事が見えるようにと始めた企画ですが、いかがでしたでしょうか?だんだんと取材にも慣れ、少しずつ深くまで入っていているかな・と思っています。これからも解りやすくお届けできる記事を書いてゆきたいと思ひます。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。(池田雄)

あきつ 第624号

E-mail: jimukyoku@tendoukai.net
HP: http://www.tendoukai.jp

発行人/飯野順子
発行/年4回1・4・7・10月発行